



2016年3月期第2四半期決算説明会

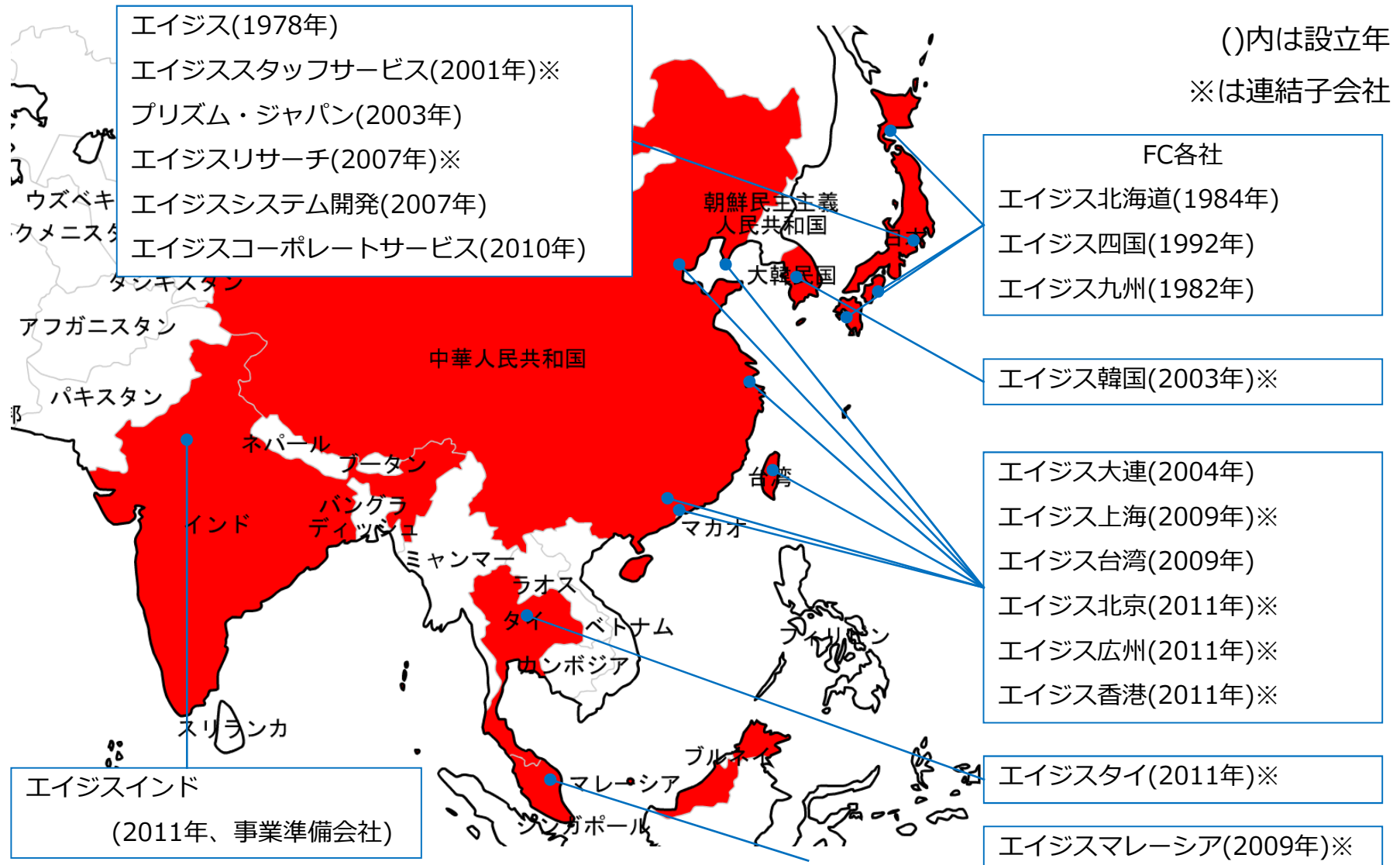
株式会社エイジス(JASDAQ 4659)
2015年10月30日

-
- エイジスグループとは
 - 2016年3月期上期業績概要
 - ・ ハイライト
 - ・ 業績サマリー
 - ・ 国内棚卸サービス
 - ・ 海外棚卸サービス
 - ・ リテイルサポートサービス
 - 2016年3月期通期業績見通しとFY14-16中期計画

エイジスグループの使命

エイジスグループは、プロフェッショナルとして
お客様に最高のサービスを提供することにより、
チェーンストアの発展と豊かな社会の実現に貢献します。

エイジスグループとは

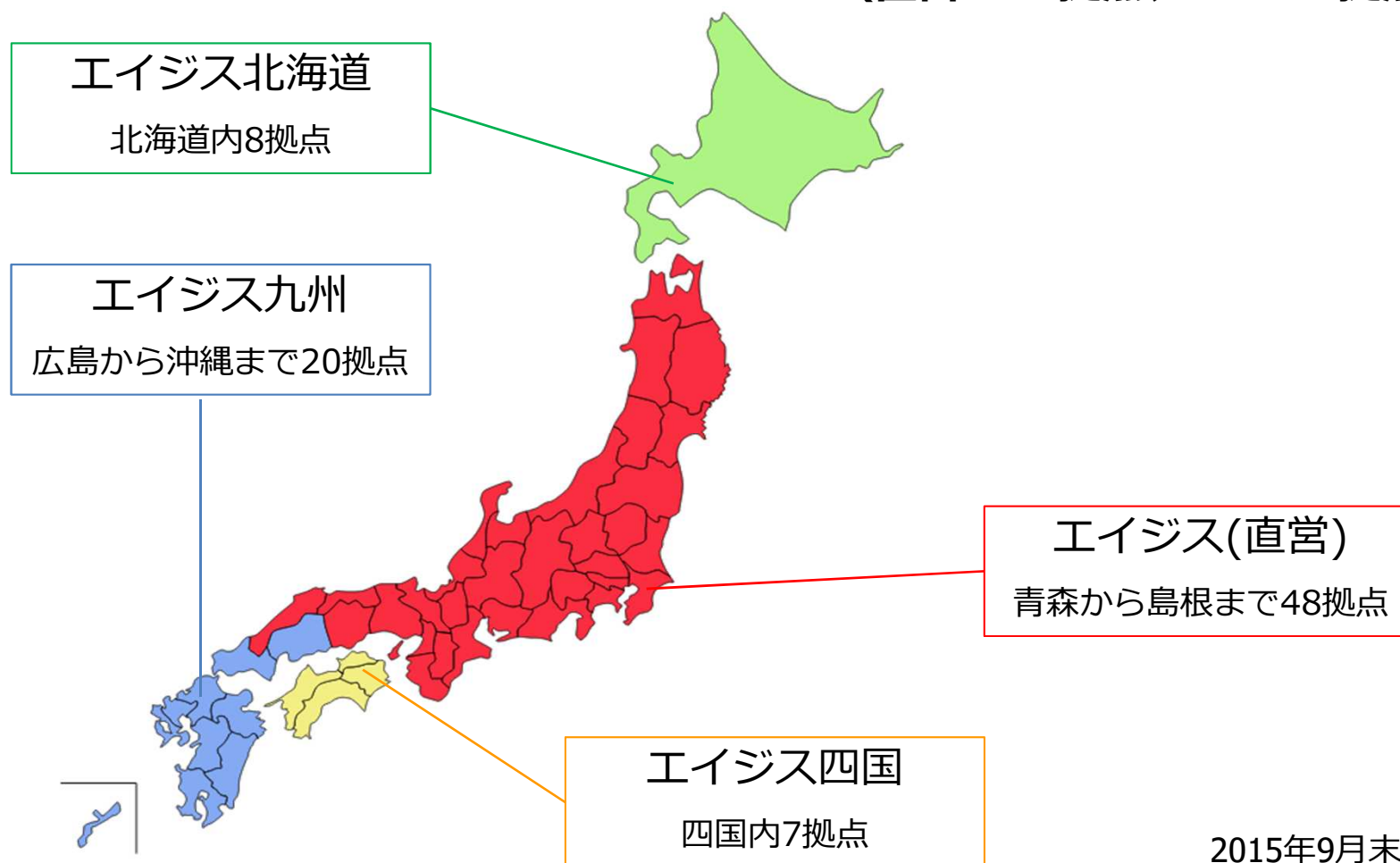


エイジスグループとは



国内棚卸会社唯一の日本全国83拠点ネットワーク

(直営 : 48拠点、FC : 35拠点)

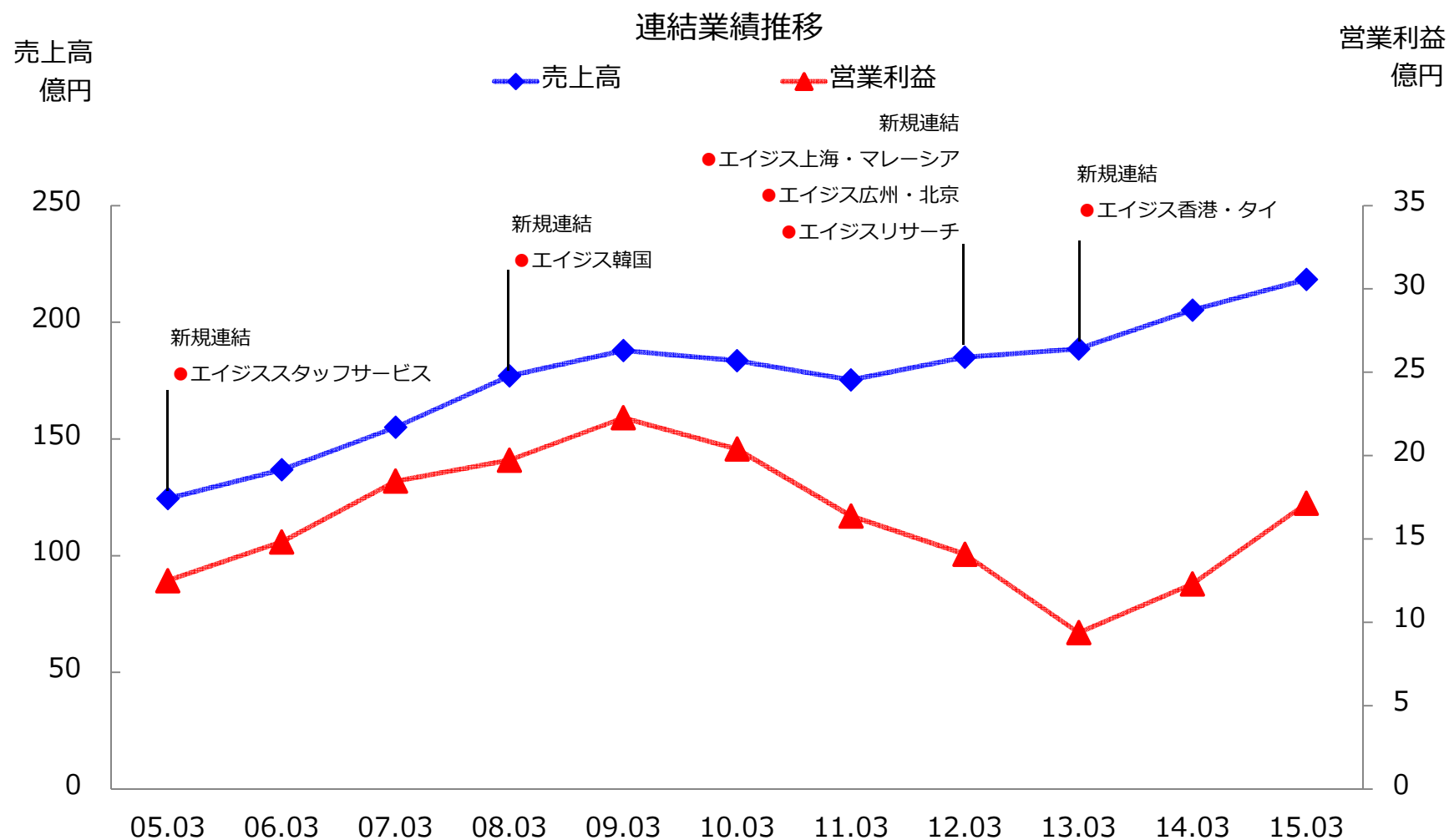


2015年9月末現在

エイジスグループとは



■ 長期安定的に売上・利益を確保しています



数字で見るエイジスグループの強み



顧客資産

約2,000社

日本の小売業売上ランキング上位100社のうち、
80社以上の取引実績

動員力

約21,000人

豊富な経験と技術をもつスタッフと、その動員力
によりチェーンストア全体をサポート

サービスエリア

47都道府県

FC各社含め全国83拠点（2015年9月末現在）の
営業所を設け、全国に高品質で均一なサービスを
提供できる唯一の会社

業界シェア

77%

当社調べ

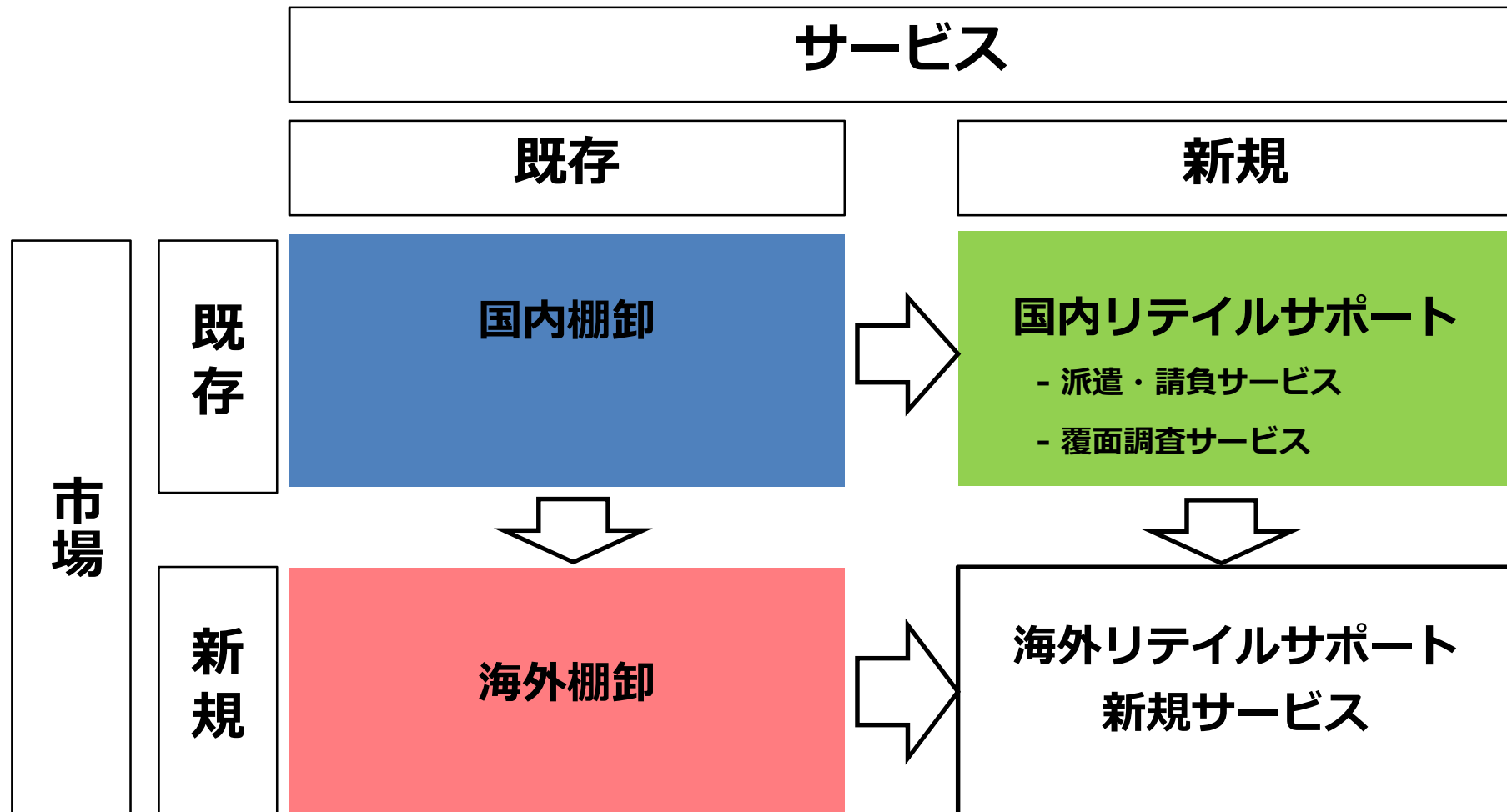
「お客様の期待に応えるエイジス」として国内
シェアNo1の実績と信頼

※国内エイジスグループにおける数値

エイジスグループとは



- 国内棚卸サービスで蓄積した資産を活用し、海外、リテイルサポートサービスの事業を拡大しています



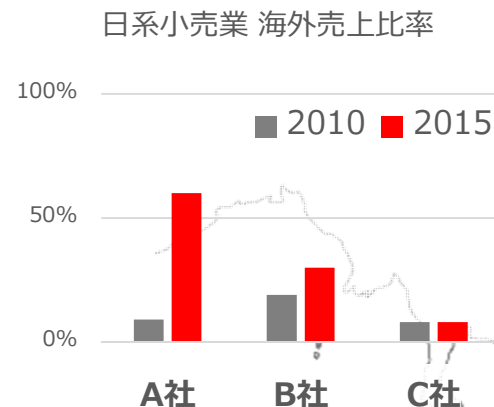
エイジスグループとは

■ 顧客資産・人的資産を有効活用することで、業容拡大を図ってまいります

国内棚卸サービスの顧客資産 約**2,000社**

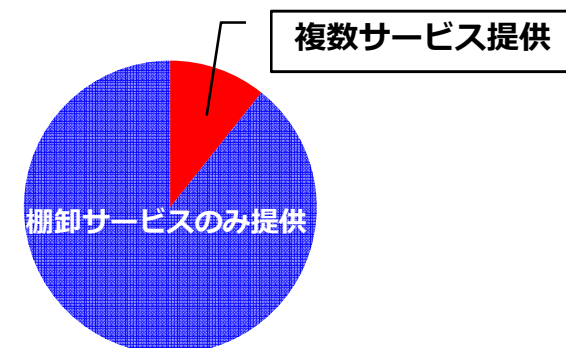
海外

日系企業の海外進出取り込み



国内

資産を活かしたサービスの多角化



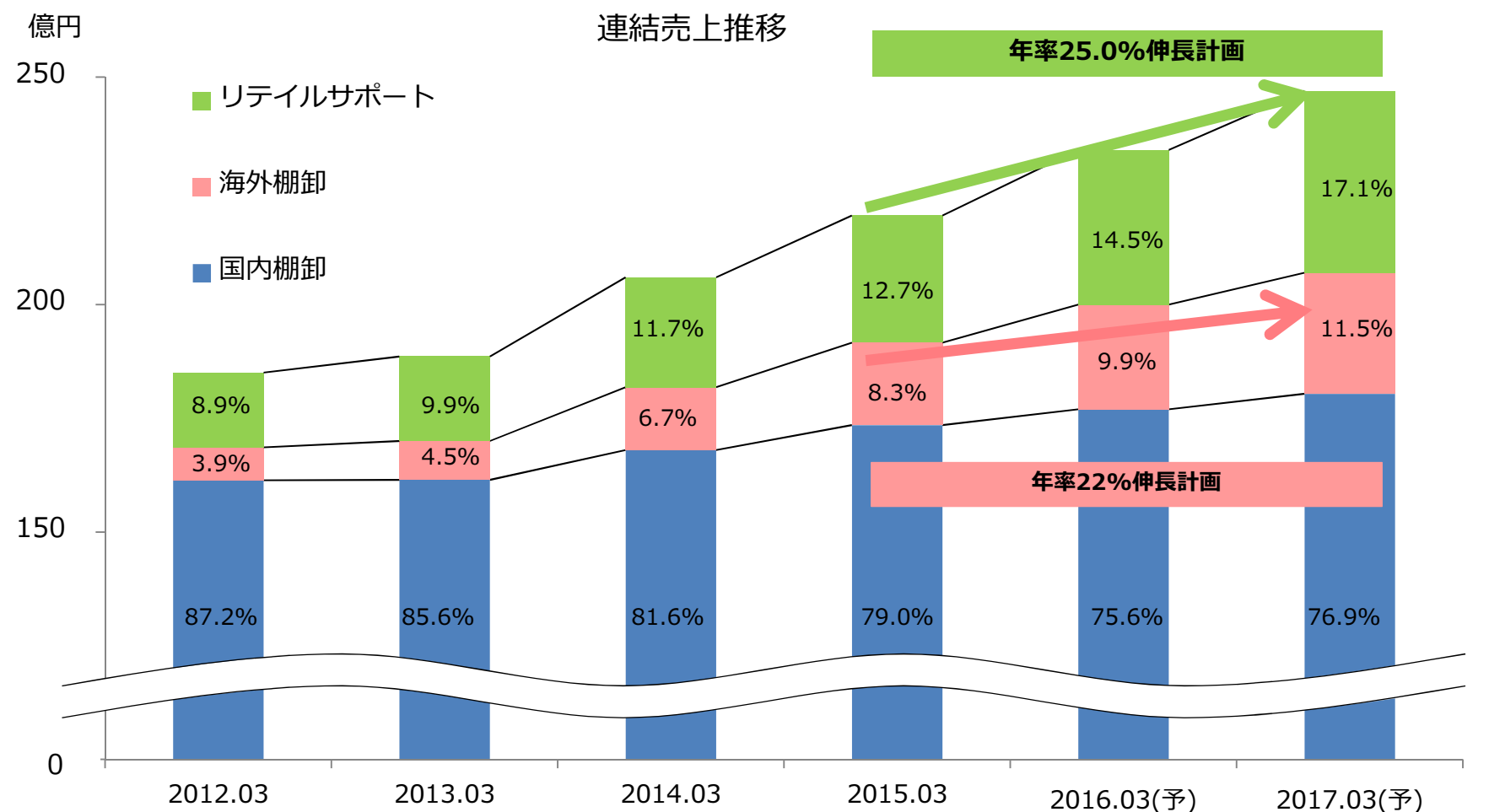
✓ 国内棚卸顧客資産の89%は棚卸のみの取引

エイジスグループ人的資産 約**21,000人**

エイジスグループとは



■ 海外棚卸、リテイルサポートサービスを拡販し、今後も成長してまいります



※グラフ内の数値はセグメント間の内部売上を含む売上構成比

-
- エイジスグループとは
 - 2016年3月期上期業績概要
 - ・ ハイライト
 - ・ 業績サマリー
 - ・ 国内棚卸サービス
 - ・ 海外棚卸サービス
 - ・ リテイルサポートサービス
 - 2016年3月期通期業績見通しとFY14-16中期計画

- 1 上期連結売上高、営業利益で過去最高を記録**

- 2 全セグメントにおいて大幅な収益改善**

- 3 海外棚卸サービスの黒字化を達成**

2016年3月期上期概況



当社を取り巻く マクロ環境

- コンビニエンスストアは積極的な新規出店
- 流通小売業界内は業種を超える競争激化
- インバウンド需要
- オムニチャネル
- 人手不足

国内競合他社動向

- 低価格戦略の継続

当社状況

- 既存顧客の出店増に対応するため人材育成のスピードアップ
- 品質向上および生産性向上による差別化
- リテイルサポートサービスの拡販
- グループ間の人材活用促進



2016年3月期上期 連結業績サマリー



- 上期における売上高、営業利益は過去最高
- 国内棚卸サービスにおける生産性の改善が原価を圧縮

(百万円)

	2014.03期 上期実績	2015.03期 上期実績	2016.03期 上期実績	前期比	2015年8月 修正後計画	計画比
売上高	9,815	10,320	11,345	+9.9%	11,259	+0.8%
売上総利益 (売上比)	2,296 (23.4%)	2,552 (24.7%)	3,224 (28.4%)	+26.3%	-	-
販管費 (売上比)	1,752 (17.9%)	1,833 (17.8%)	2,045 (18.0%)	+11.5%	-	-
営業利益 (売上比)	543 (5.5%)	718 (7.0%)	1,179 (10.4%)	+64.1%	1,020 (9.1%)	+15.6%
経常利益 (売上比)	557 (5.7%)	739 (7.2%)	1,191 (10.5%)	+61.2%	1,036 (9.2%)	+15.0%
当期純利益 (売上比)	296 (3.0%)	426 (4.1%)	771 (6.8%)	+81.1%	670 (6.0%)	+15.1%

当社はD.O.(ディストリクトオフィス)で発生するコストを売上原価とし、本部で発生するコストを販売費及び一般管理費としている

2016年3月期上期 セグメント別業績



■ 海外棚卸サービスの黒字転換により、全セグメントで黒字化を達成

(百万円)

	2014.03期 上期実績	2015.03期 上期実績	2016.03期 上期実績	前期比	2015年8月 修正後計画	計画比
売上高	9,815	10,320	11,345	+9.9%	11,259	+0.8%
国内棚卸サービス	8,081	8,333	8,571	+2.8%	-	-
海外棚卸サービス	638	772	1,021	+32.1%	-	-
リテイルサポートサービス	1,130	1,271	1,807	+42.1%	-	-
消去	△35	△57	△53	-	-	-
営業利益	543	718	1,179	+64.1%	1,020	+15.6%
国内棚卸サービス	557	748	989	+32.2%	-	-
海外棚卸サービス	△77	△93	47	-	-	-
リテイルサポートサービス	60	60	139	+129.5%	-	-
消去	3	2	3	-	-	-

国内棚卸サービス業績



- 増収基調継続
- 生産性改善により人件費が抑制され、前期比+32.2%の増益

(百万円)

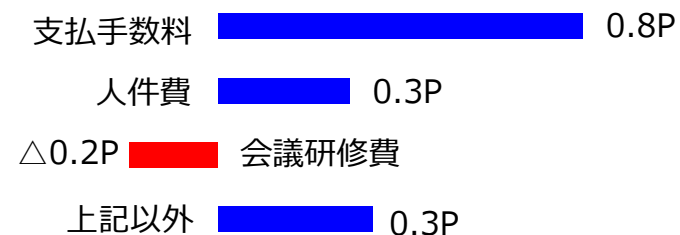
	2014.03期 上期実績	2015.03期 上期実績	2016.03期 上期実績	前期比
売上高	8,081	8,333	8,570	+2.8%
売上総利益 (売上比)	1,850 (22.9%)	2,062 (24.7%)	2,443 (28.5%)	+18.5%
販管費 (売上比)	1,292 (16.0%)	1,313 (15.8%)	1,453 (17.0%)	+10.7%
営業利益 (売上比)	557 (6.9%)	748 (9.0%)	989 (11.5%)	+32.2%

※セグメント間の内部売上、振替も上記数値には含む

- 原価率 75.3%→71.5%



- 販管费率 15.8%→17.0%



2017/6/30

Copyright © 2015 AJIS All Rights Reserved.

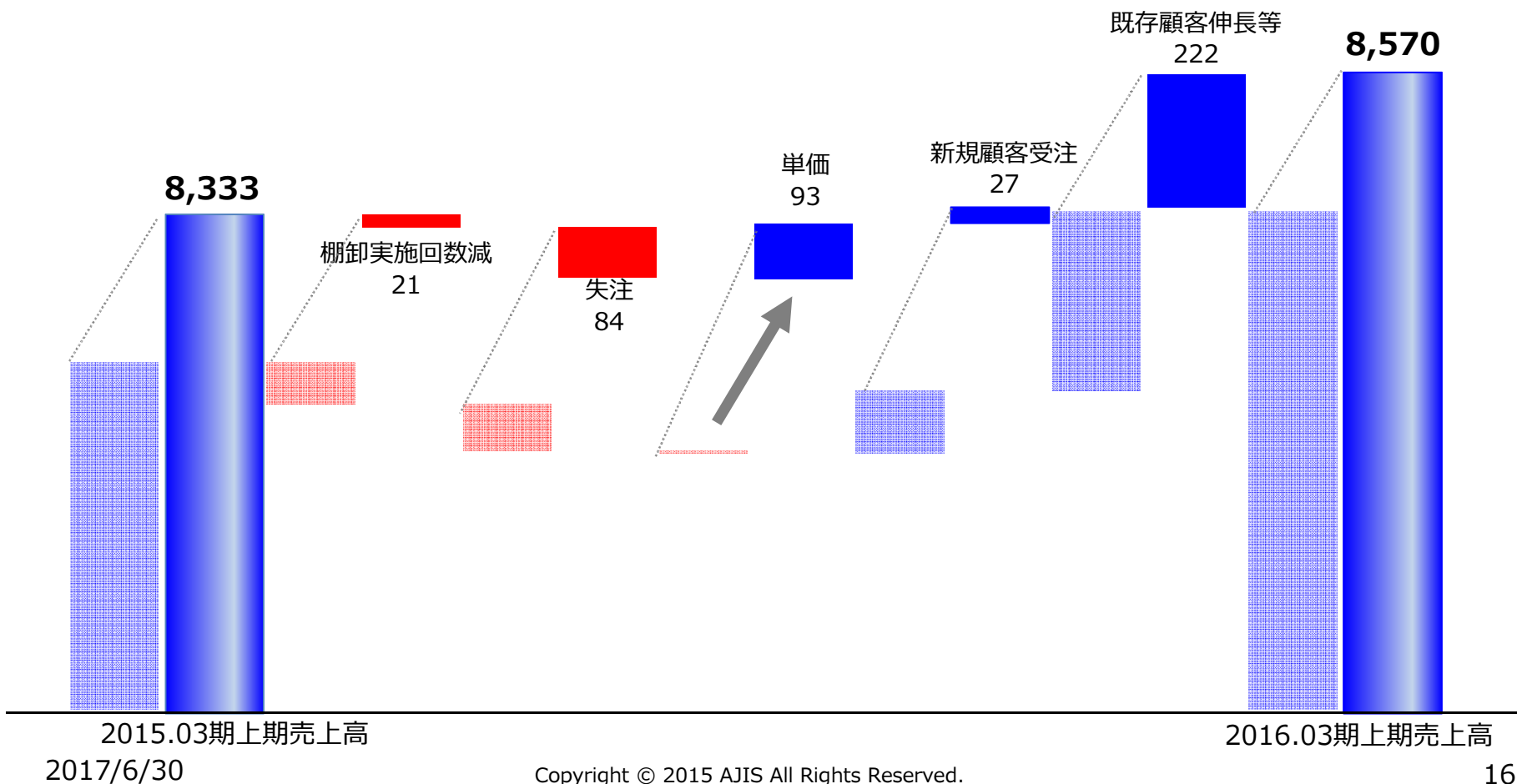
※グラフは前年同期比売上比率

売上高増減要因 (国内棚卸サービス売上高)

- 国内棚卸サービス売上高は対前期比+2.8%
- 棚卸実施回数減の減少と料率上昇転換が奏功

単位：(百万円)

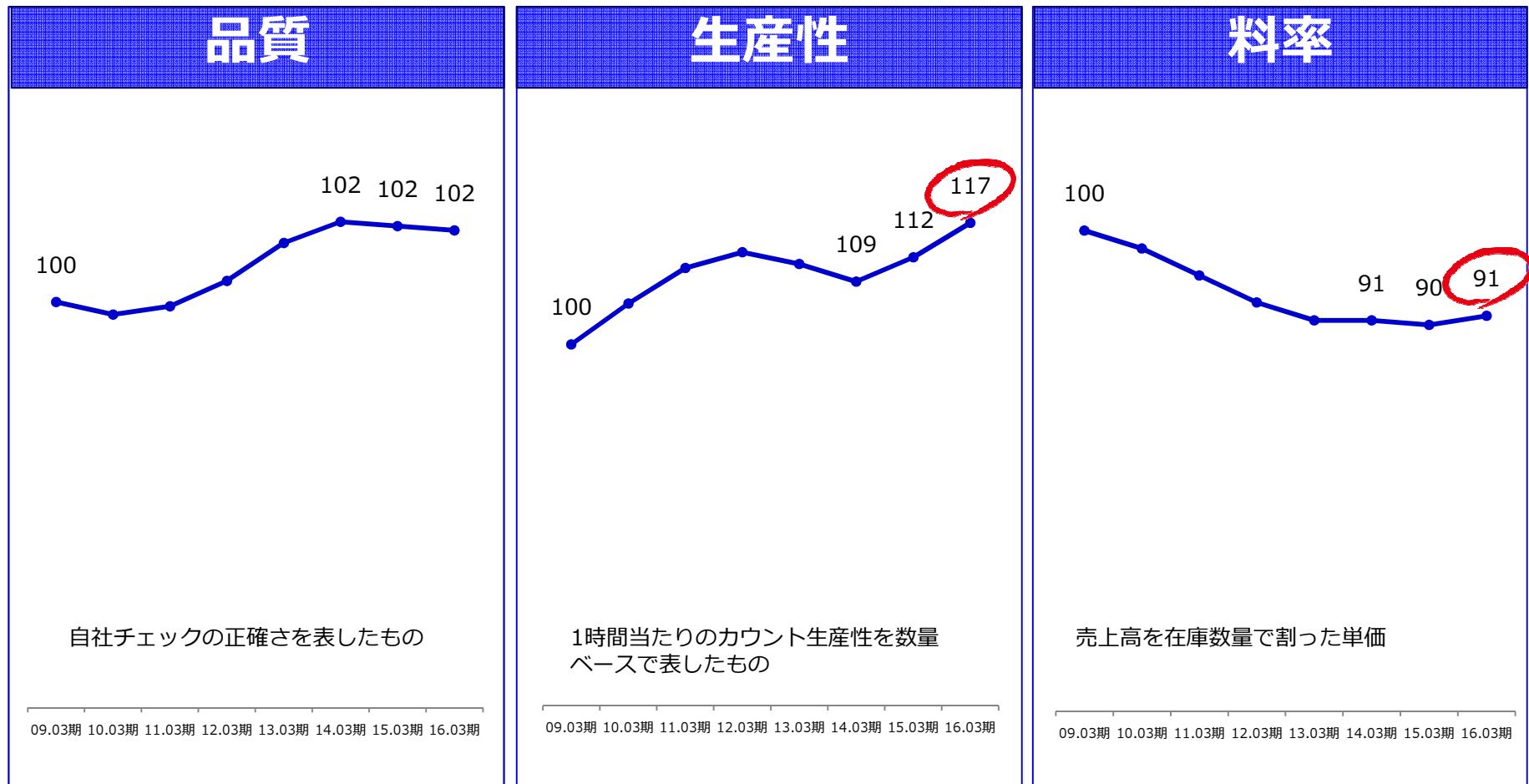
※色の薄いグラフは前年同売上増減グラフ



経営指標推移

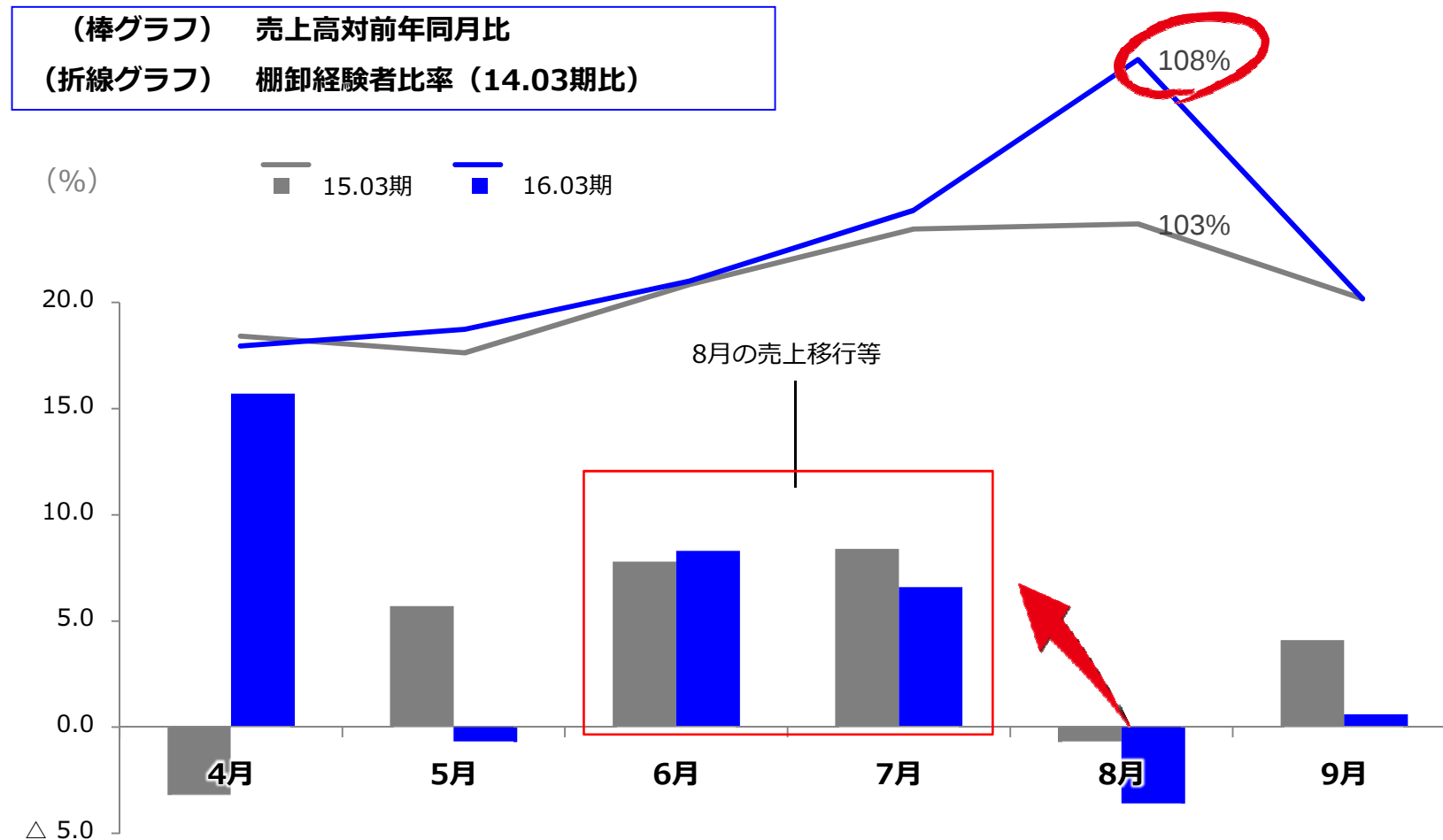
- 棚卸生産性は新テクノロジー導入および繁忙差縮小により改善が継続
- 料率は下げ止まり、上昇に転じる

2009年3月期上期の数値を100とした場合の推移



棚卸繁閑差の縮小

- 棚卸繁閑差の解消は着実に前進
- 8月棚卸経験者比率は14.03期比 8 P改善



海外棚卸サービス業績

■ 増収および黒字転換

(百万円)

	2014.03期 上期実績	2015.03期 上期実績	2016.03期 上期実績	前期比
売上高	638	772	1,020	+32.1%
売上総利益 (売上比)	128 (20.1%)	149 (19.3%)	273 (26.8%)	+83.3%
販管費 (売上比)	203 (31.9%)	247 (32.0%)	231 (22.7%)	△6.2%
営業利益 (売上比)	△77 (△12.2%)	△93 (△12.1%)	47 (4.7%)	—

※セグメント間の内部売上、振替も上記数値には含む

- 韓国・マレーシアに続き、香港・上海・タイも黒字化を達成
- 受注増に伴い稼働率が向上し、現場以外のコストを圧縮
- 前期国内棚卸で導入した新しいテクノロジーを水平展開し、生産性向上に寄与
- 幹部社員の現地化推進により販管費を圧縮

リテイルサポートサービス業績

■ 連結子会社2社共に増収・増益

(百万円)

	2014.03期 上期実績	2015.03期 上期実績	2016.03期 上期実績	前期比
売上高	1,130	1,271	1,806	+42.1%
売上総利益 (売上比)	336 (29.8%)	359 (28.2%)	530 (29.3%)	+47.6%
販管費 (売上比)	275 (24.4%)	298 (24.1%)	391 (21.6%)	+31.0%
営業利益 (売上比)	60 (5.4%)	60 (4.8%)	139 (7.7%)	+129.5%

※セグメント間の内部売上、振替も上記数値には含む

■ エイジススタッフサービス

- ✓ 流通小売業周辺サービスのさらなる拡販と、原価圧縮により収益改善

■ エイジスリサーチ

- ✓ 流通小売業界を超えた販売チャネルの多様化が進行
- ✓ 「商業界」とのタイアップにて「サービス オブ ザ・イヤー2015」を開催
→ 弊社のミステリーショッパー部隊が調査を担当

2017/6/30

Copyright © 2015 AJIS All Rights Reserved.



-
- エイジスグループとは
 - 2016年3月期上期業績概要
 - ・ハイライト
 - ・業績サマリー
 - ・国内棚卸サービス
 - ・海外棚卸サービス
 - ・リテイルサポートサービス
 - 2016年3月期通期業績見通しとFY14-16中期計画

2016年3月期 連結業績予想



■ 足元の業績動向を踏まえ、通期利益予想を上方修正

(百万円)

	2014.03期	2015.03期	2016.03期 (期首計画)	2016.03期 (新計画)	前期比	対前年増減額
売上高	20,520	21,829	23,333	23,460	+7.5%	+1,629
売上総利益 (売上比)	4,839 (23.6%)	5,489 (25.1%)	6,021 (25.8%)	6,576 (28.0%)	+19.8%	+1,086
販管費 (売上比)	3,607 (17.6%)	3,774 (17.3%)	4,121 (17.7%)	4,261 (18.2%)	+12.9%	+487
営業利益 (売上比)	1,231 (6.0%)	1,714 (7.9%)	1,900 (8.1%)	2,314 (9.9%)	+35.0%	+599
経常利益 (売上比)	1,246 (6.1%)	1,763 (8.1%)	1,927 (8.3%)	2,356 (10.0%)	+33.6%	+592
当期純利益 (売上比)	592 (2.9%)	932 (4.3%)	1,218 (5.2%)	1,500 (6.3%)	+60.9%	+567

2016年3月期 セグメント別業績予想

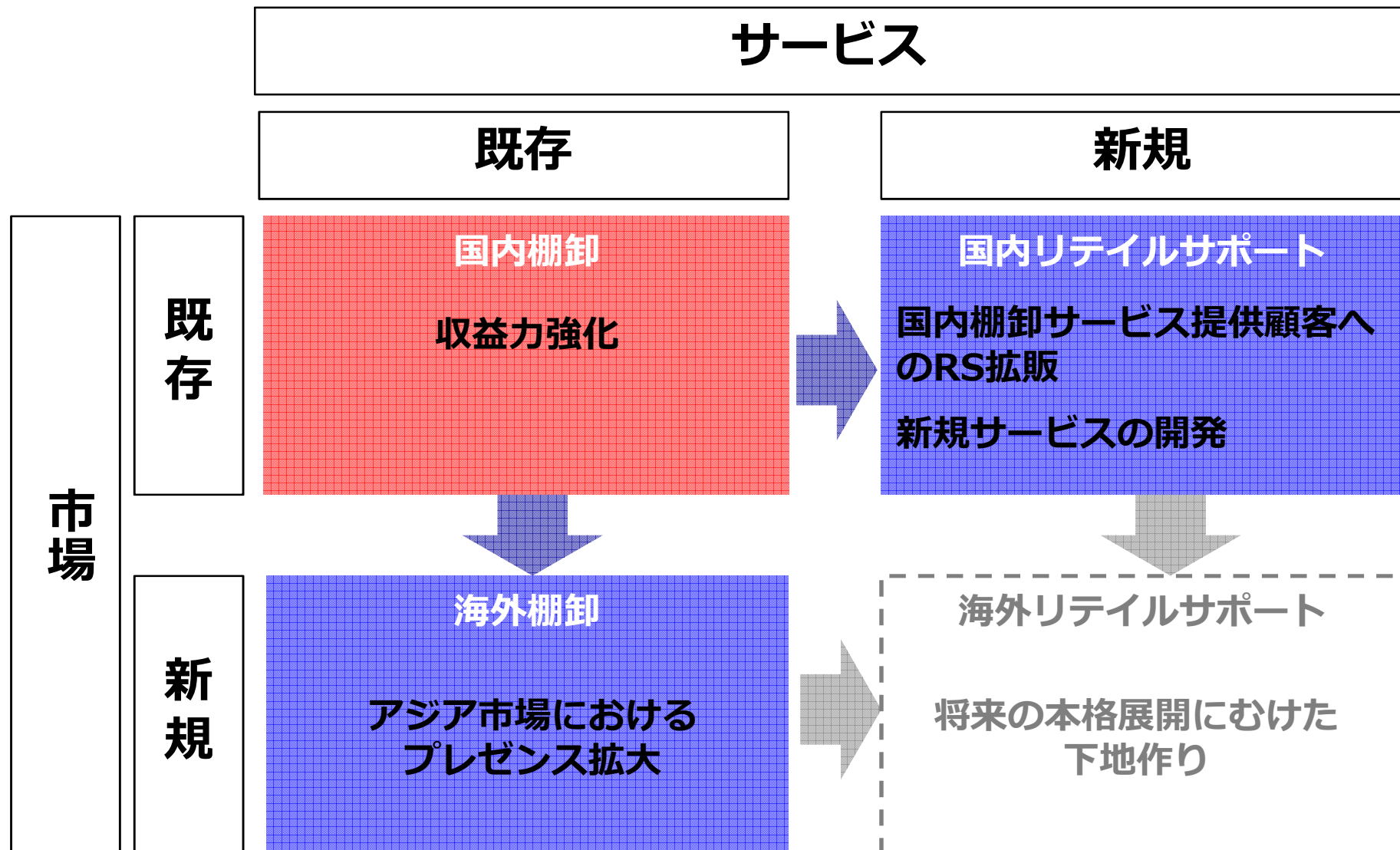


- 下期国内棚卸は外部環境の不透明感が続く
- 海外棚卸、リテイルサポートは通期予想を上方修正

(百万円)

	2014.03期	2015.03期	2016.03期 (期首計画)	2016.03期 (新計画)	前期比	対前年増減額
売上高	20,520	21,829	23,333	23,460	+7.5%	+1,567
国内棚卸サービス	16,806	17,352	17,700	17,700	+2.0%	+348
海外棚卸サービス	1,382	1,811	2,300	2,221	+22.6%	+410
リテイルサポートサービス	2,414	2,797	3,400	3,606	+28.9%	+809
消去	△83	△132	△67	△67	—	—
営業利益	1,231	1,714	1,900	2,314	+35.0%	+600
国内棚卸サービス	1,298	1,647	1,700	1,988	+20.7%	+341
海外棚卸サービス	△162	△66	30	91	—	+157
リテイルサポートサービス	89	129	160	225	+73.7%	+96
消去	6	5	10	10	—	—

FY14-16中期経営計画



FY14-16戦略1

国内棚卸サービスの収益力強化

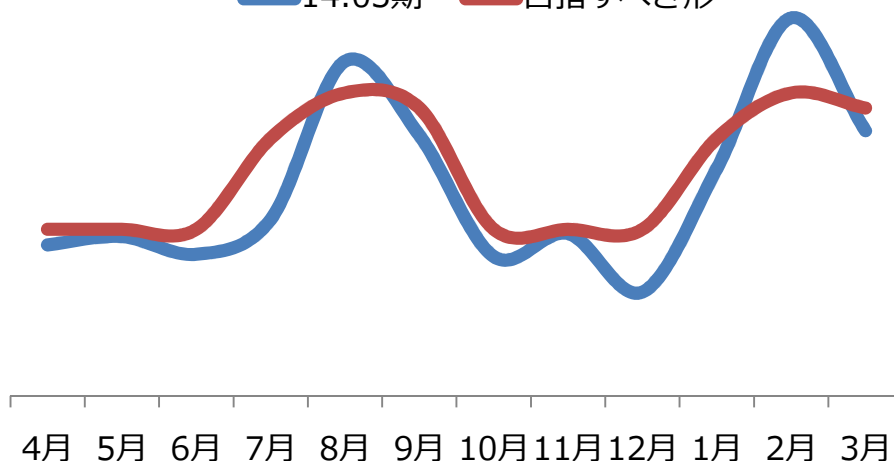


- 国内棚卸は成長分野であるリテイルサポート・海外棚卸の各事業に対する投資原資を生み出すための事業として位置づけ、以下の施策を中心に収益力を強化する

棚卸繁閑差の解消にむけて

国内棚卸受託売上高の月別推移

— 14.03期 — 目指すべき形



- 大手流通グループとの取引関係を更に強固なものとし、棚卸閑散期の売上拡大を図る

- 循環棚卸へ向けたアクションを起こす

棚卸作業システムの改革

- IE (Industry Engineering) による作業改善
- 棚卸のソフト・ハード・道具の開発



イノベーション実現に向けた研究・開発

- テクノロジー×棚卸機器
- テクノロジー×棚卸オペレーション

棚卸プロ集団化の実現

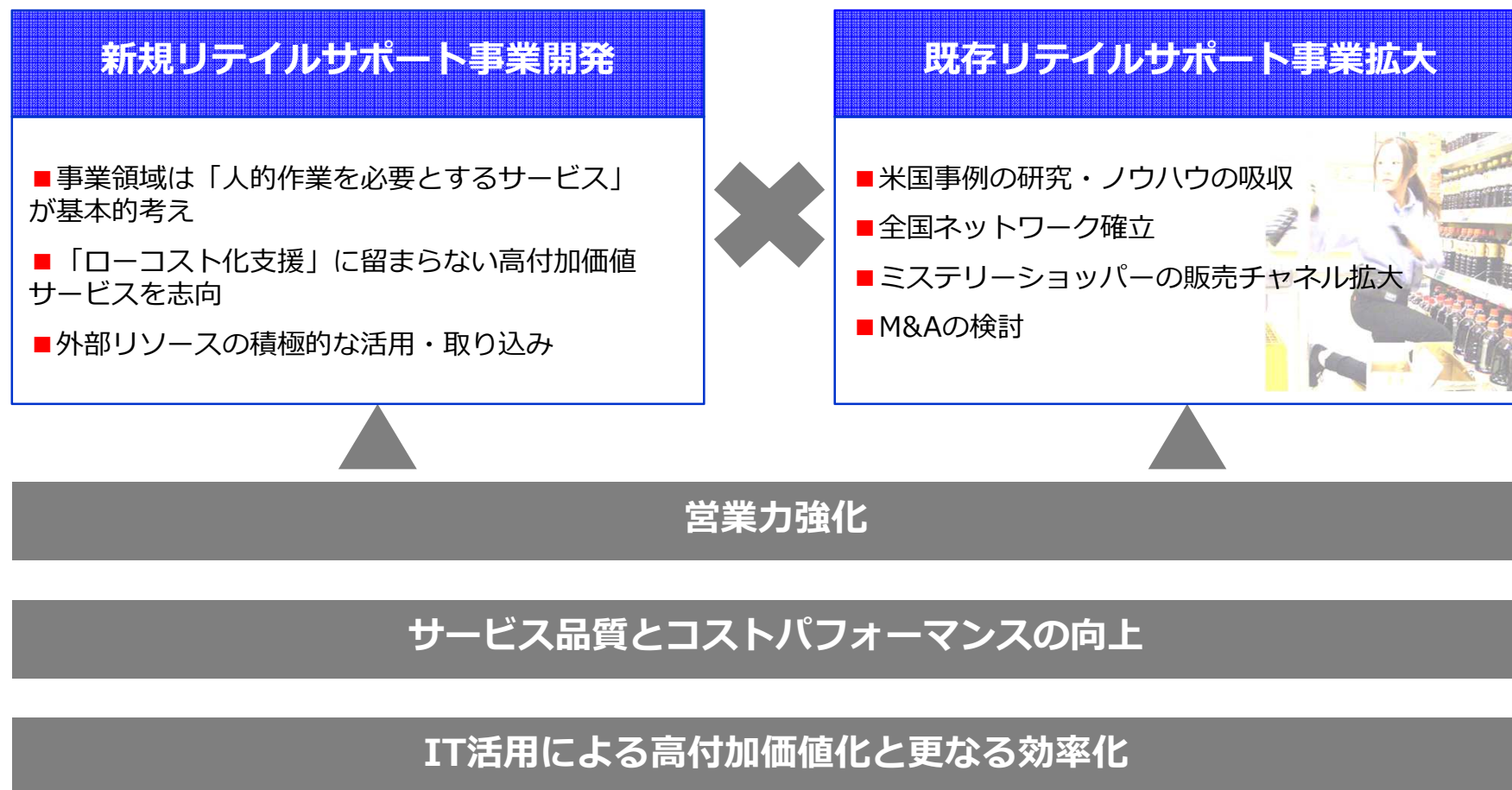
- 従業員個々のスキルアップ
- レイバースケジューリングプログラムのブラッシュアップ
- 従業員定着率の向上

FY14-16戦略2

リテイルサポートサービスの拡大

将来は国内棚卸サービスを超える事業へ

- リテイルサポートサービス事業の位置づけ
- 1. 次の事業の柱とする 2. 棚卸繁閑差を埋める



FY14-16戦略3

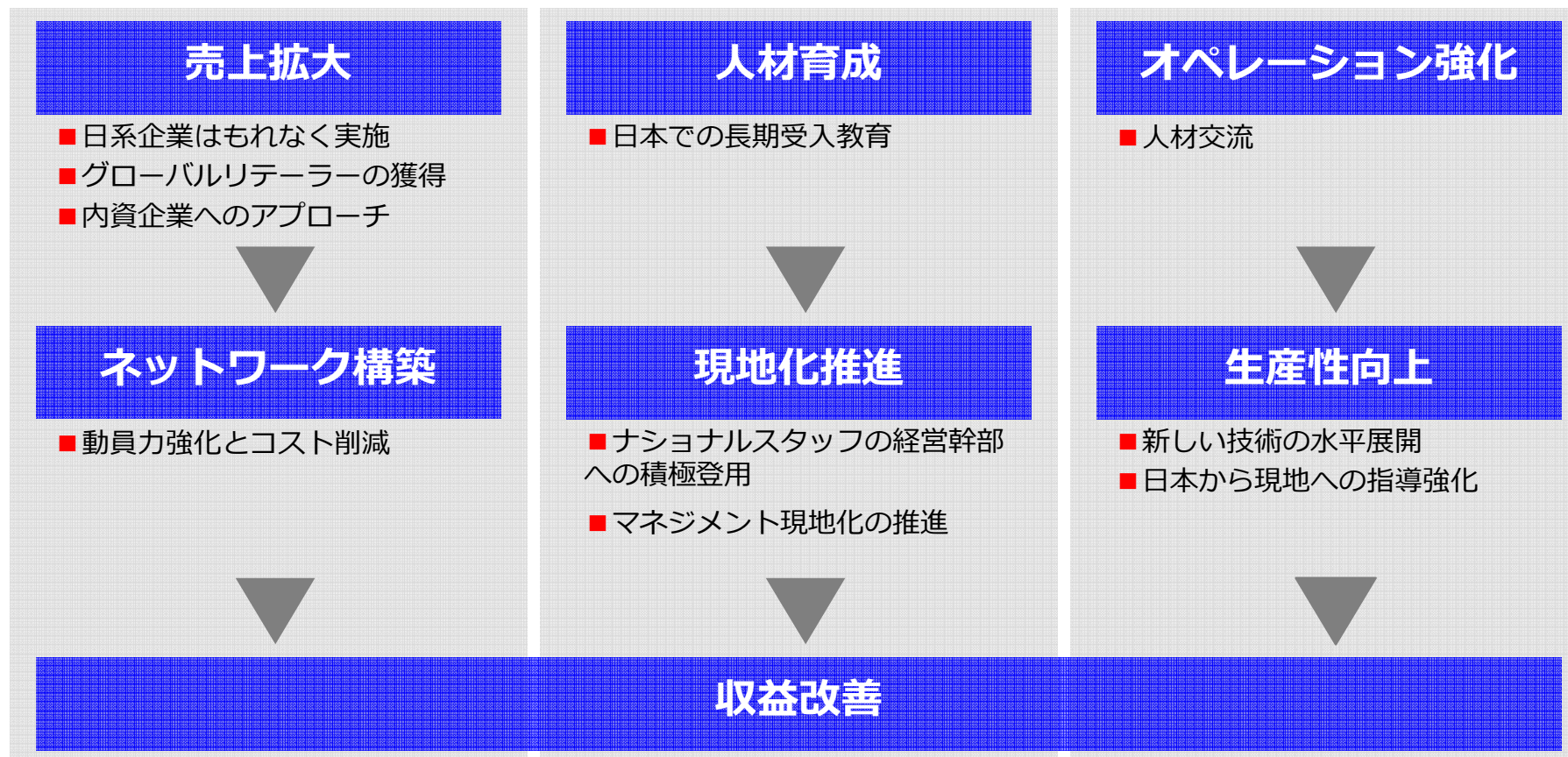
アジア市場でのサービス拡大



2016.03期には海外棚卸事業全体での黒字化を実現する

- FY14-16は棚卸サービスの拡販を積極的に行い、RSサービスの拡販は補完的な位置づけとする

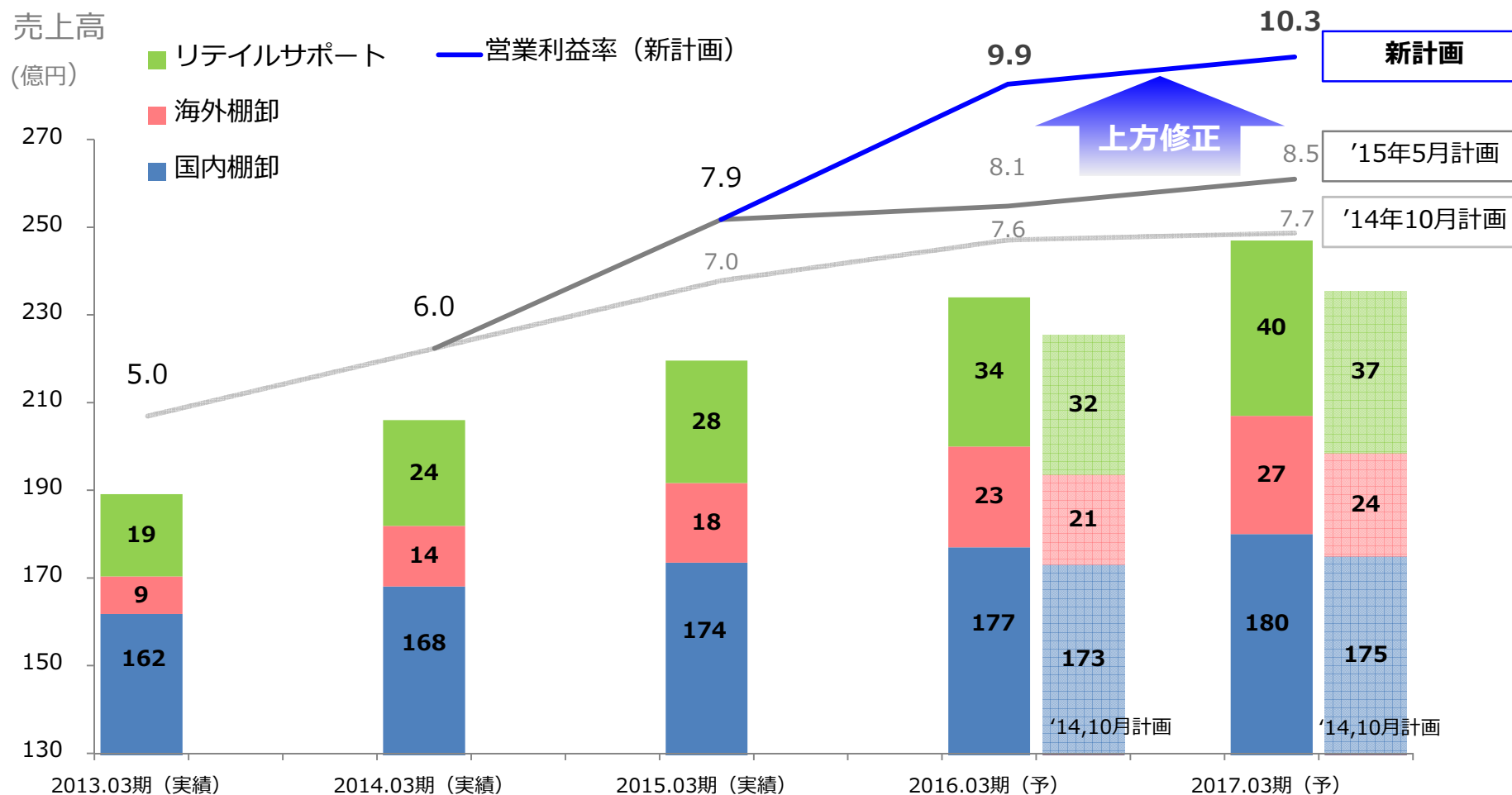
海外事業の戦略サマリー



FY14-16 売上高・営業利益率目標



■ 収益改善が前倒しで進行のため中期経営計画を上方修正



2017/6/30

Copyright © 2015 AJIS All Rights Reserved.

計画は内部取引を含む

ご清聴ありがとうございました

本資料における将来の予測に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクは不確実性が含まれております。

従いまして、実際には様々な要因によりこれらの予測とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

<<お問合せ先>>

経営企画室長 秋葉 孝

TEL : 043-350-0911 / FAX:043-350-0800

E-mail : ajis_ir@ajis-group.com



売場の生産性を高める戦略的アウトソーシング